



むだ いなさく 無駄がない稲作

2025/6/10

No.44

岩渕和信



ねんせい いなさくたいけん ことし あいはら た か たう
5年生の稲作体験。今年も相原さんの田んぼをお借りして田植え
から稲刈りまで、本物の米づくりをします。

きょう しょうち あいはら ぜんたいぞう
今日は今年の初日。相原さんが米づくりの全体像をレクチャーし
てくれます。

「みんなの先輩の先輩のずーっと先輩の代から、湘南学園の田んぼをみなさんとやっています。
もう18年目になります」「すご！」

「みんなが生まれる前からやっています。毎年おんなじことやってるんだけど、毎年違うんだ」
「でき方?」「季節?」

「そう、気候が違う。そして関わる人が違う。そうすると田んぼが変わる」



相原さんは、わら、もみ、もみがら、玄米などの
実物を持ってきて、みんなに持たせてくれて、
稲作で作られるものを順に説明しました。

「うわ、もみがら、軽い！」

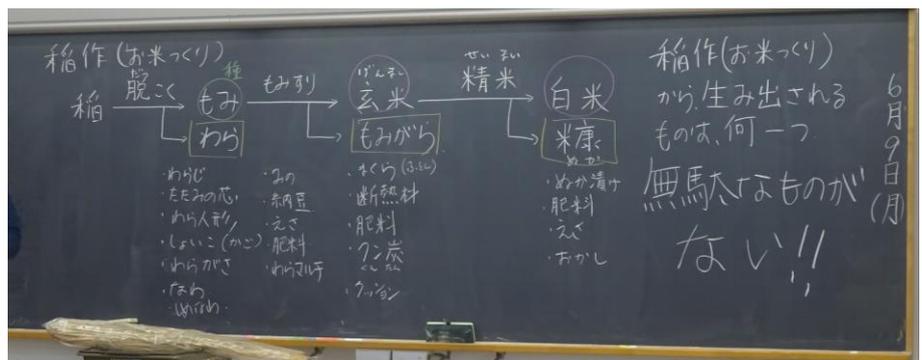
「もみがらは何に使われてるか知ってるかな？」

「まくら?」「肥料?」

「そうそう。あと、家の壁の断熱材にも使ったりするんですよ。そして精米して最後にでき
る糠もね」

「ぬか漬け！」

「そうです。こんなふう
に、お米作りから生み出さ
れるものは、何一つ無駄な
ものがないんです」



こんしゅう ぜんいん たう
今週は、全員で田植えにいきます。

作ることができないものは理解したことになる。

(リチャード・ファインマン)